

地震対策について

地震発生時の時間経過別行動マニュアル

地震発生

2~5分

5~10分

10分~半日

半日~3日

！とにかく自分の身を守ろう！
地震だ！ まず身の安全
大きな揺れを感じたり、緊急地震速報を受けたら、姿勢を低くし、頭を守り、揺れがおさまるまで待ちましょう。

！しっかり火の始末で、火災防止！
大揺れがおさまった
台所やストーブなど火の始末をしましょう。避難の時は、電気のブレーカーを下ろし、ガスの元栓を閉めましょう。

！わが家の安全確認、確保！
火の始末のあと
家族の身の安全を確認、確保し、災害情報、避難情報を入力しましょう。また、避難可能な出口も確保しましょう。

！隣近所の安否確認、助け合い！
外に出たあと
家の家具の下敷きになった人の救出や、消火活動を隣近所で協力して行いましょう。

！2,3日は自分でしのぐ！
避難後、数日間
地震発生後の数日間は、水、食料に加え、電気などの供給が途絶えます。この間、日頃から、生活必需品（非常用品）を準備し、自分でしのげるようにしておきましょう。






家中

- 揺れを感じたら、身の安全を確保し、すばやく安全な場所へ避難する。
- 揺れがおさまったら火の確認はすみやかに（コンセントやガスの元栓の処置も忘れずに）。
- 乳幼児や病人、高齢者など要配慮者の安全を確保する。
- 裸足で歩き回らない（ガラスの破片などでケガをする）。

車を運転中

- ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両等の通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カーラジオで情報を収集する。
- 避難が必要な時は、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずに持ち出し、徒歩で避難する。

路上

- その場に立ち止まらず、窓ガラス、看板などの落下物から頭をカバンなどで保護して、空き地や公園などの安全な場所に避難する。
- 近くに空き地などが無いときは、周囲の状況を冷静に判断して、建物から離れた安全性の高い場所へ移動する。
- ブロック塀や自動販売機などには近づかない。
- 倒れそうな電柱や垂れ下がった電線に注意する。

海岸付近

- 高台へ避難し津波情報をよく聞く。注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

津波対策について

津波から身を守るためには

「より早く」「より高い場所」へ逃げましょう。ハザードマップはあくまでも目安です。想定を上回る被害が起きる可能性も十分にありまます。ここなら安心と思わず、より高い場所をめざしましょう。

テレビ等で放送される津波情報では八雲町は「北海道太平洋沿岸西部」及び「北海道日本海沿岸南部」に含まれます。



津波警報・注意報の分類と、とるべき行動

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台など、より安全な場所へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	海拔の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

津波からの避難



津波の特性と避難行動のポイント

- ！水辺からすぐに離れる**
津波注意報であっても水辺は危険。ただちに海岸や川べりから離れる。
- ！津波の速度は速い**
津波の速度は非常に速く、目に見えてから逃げるのには間に合わない。
- ！避難したら戻らない**
到達予想時刻が過ぎたり、第一波が引いたとしても、津波警報・注意報が解除され安全が確認されるまでは避難を継続する。
- ！津波は何度も来る**
津波は一度だけでなく複数回襲来し、後から来る津波の方が高くなることもある。
- ！津波は場所により高くなる**
津波は沿岸に近づき水深が浅くなるほど、急激に高くなる。また、V字型の湾や岬の先端など、地形の影響で局所的に高くなる。
- ！津波は遠くからも来る**
津波は遠方の地震等によって発生することもある。日本近海の地震が伴わない津波警報・注意報にも注意する。

(ページ内の図表は気象庁ホームページより抜粋、編集)